

大阪体育学会「体育・スポーツの教育・指導現場での暴力根絶」の宣言

大阪体育学会は、体育・スポーツに関わる研究とその成果を広く一般に公表し、体育・スポーツの普及・発展に寄与することを目的として、50年間の活動を通してその社会的責任を果たして来たと自負している。しかし、この度の体育・スポーツの教育・指導現場での「暴力」の実態に接して、痛恨の極みであると共に、本学会が指導力不足であったことへの自責の念に堪えない。

ここに、本学会は体育・スポーツの教育・指導現場でのあらゆる「暴力」を否定し、児童・生徒・学生と選手の人格を尊重し、「いのち」を大切にする思想と行動の重要性を社会に訴えるとともに、それを実践する指導者養成に寄与できる研究をこれまで以上に推進することを宣言する。また、これまで誇りを持ち情熱を注いで教育・指導に当たられてきた体育教師やスポーツ指導者の方々においては、この度の事件を真摯に受け止めて毅然として教育・指導に当たられることを願って止まない。

平成 25 年 3 月 10 日

大阪体育学会